



×



菊水化学工業株式会社

集合住宅向け製品ラインナップ

下地から仕上げまでのトータルサポート
マンション大規模修繕



kikusui

大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について





塗装仕様について

外壁

塗装

吹付タイル・リシン仕上等の塗替え

1 液水系ふっ素樹脂塗料「水系ファインコートフッ素」

1 液水系反応硬化形シリコン樹脂塗料「キクスイ ロイヤルシリコン」

水系アクリルシリコン樹脂塗料「水系ファインコートシリコン」

磁器タイル面

2 液弱溶剤形ふっ素樹脂クリヤー「キクスイ SP パワーフッ素クリヤー」

2 液弱溶剤形セラミックハイブリッドシリコン樹脂クリヤー

「キクスイ ロイヤルセラクリヤー」

打放し面

打放しコンクリート保護システム（水系シリコン）「キクスイ SA工法」

打放しコンクリート保護システム（水系ふっ素）「キクスイ SA工法」



塗装仕様について

共用廊下

塗装

吹付タイル・リシン仕上等の塗替え

1 液水系ふっ素樹脂塗料「水系ファインコートフッ素」

1 液水系反応硬化形シリコン樹脂塗料「キクスイ ロイヤルシリコン」

水系アクリルシリコン樹脂塗料「水系ファインコートシリコン」

軒天・上裏

軒天塗替え用仕上塗材 透湿性「ノキテンファイン」

水性透湿性塗料「水系ファインコート」

弱溶剤NAD系塗料「SPファインコート」



塗装仕様について

屋根

2 液弱溶剤形屋根用反応硬化形ふっ素樹脂塗料

「キクスイ SP パワールーフ F」

1 液水系スレート屋根用反応硬化形シリコン樹脂塗料

「キクスイ ロイヤルベスト W」

2 液弱溶剤形屋根用反応硬化形シリコン樹脂塗料

「キクスイ ロイヤルパワールーフ S」

屋根（遮熱）

2 液弱溶剤形ふっ素樹脂屋根用高日射反射率塗料（遮熱塗料）

「キクスイ SP パワースーモ F」

2 液弱溶剤形シリコン樹脂屋根用高日射反射率塗料（遮熱塗料）

「キクスイ SP パワースーモ S i」



塗装仕様について

ベランダ

塗装

吹付タイル・リシン仕上等の塗替え

1 液水系ふっ素樹脂塗料「水系ファインコートフッ素」

1 液水系反応硬化形シリコン樹脂塗料「キクスイ ロイヤルシリコン」

水系アクリルシリコン樹脂塗料「水系ファインコートシリコン」

軒天・上裏

軒天塗替え用仕上塗材 透湿性「ノキテンファイン」

大切な
住まいを
守る

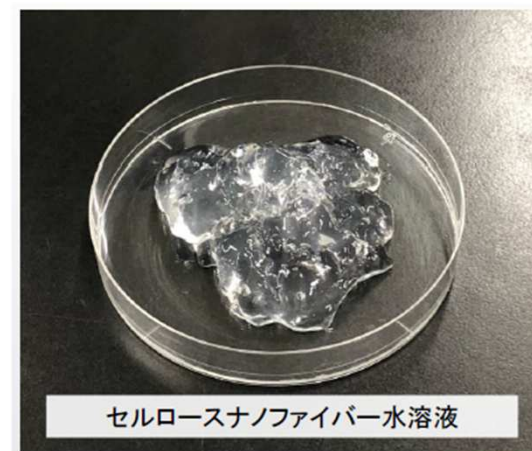
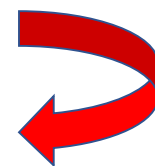
塗装仕様について

セルノースナノファイバー含有特殊弾性フィラー

「キクスイ セルナノフィラーD」

- ・マンション改修など高耐久を求められる箇所への使用を想定
- ・微弾性フィラーにセルノースナノファイバーを配合し
強度や耐クラック性の向上を図った製品

- ・植物由来のセルロースを原料とした
ナノファイバー素材で環境負荷が小さい
- ・軽量でありながら鉄の5倍の強度を持つ
- ・保水性、増粘性、分散・乳化安定性、
温度安定性などに優れている



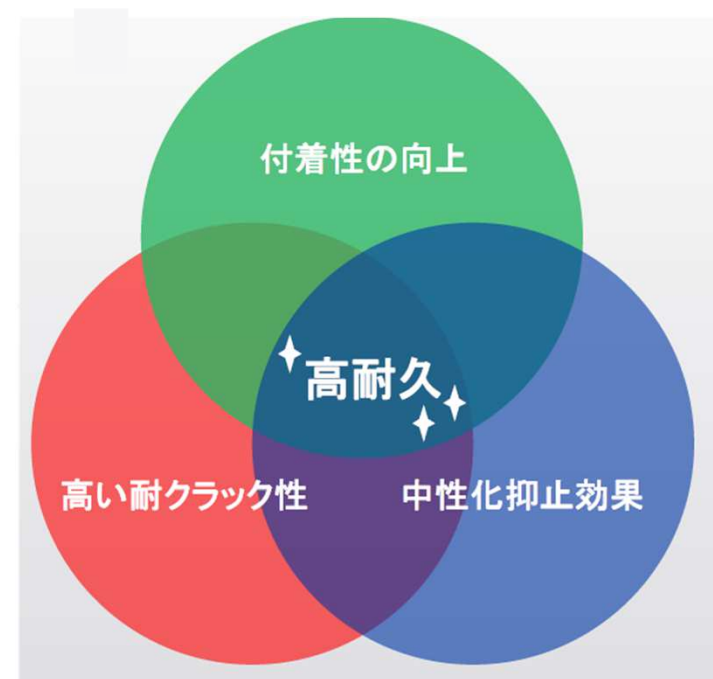
セルノースナノファイバー水溶液



塗装仕様について

セルナノフィラーDの特徴

- ・ 付着力の向上
- ・ ゼロスパンテンション試験における伸び量の向上
- ・ 高いひび割れ追従性
- ・ 中性化抑止効果

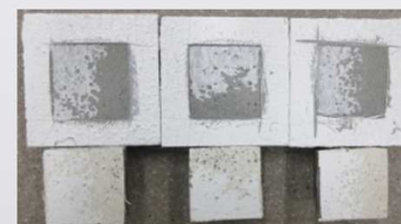
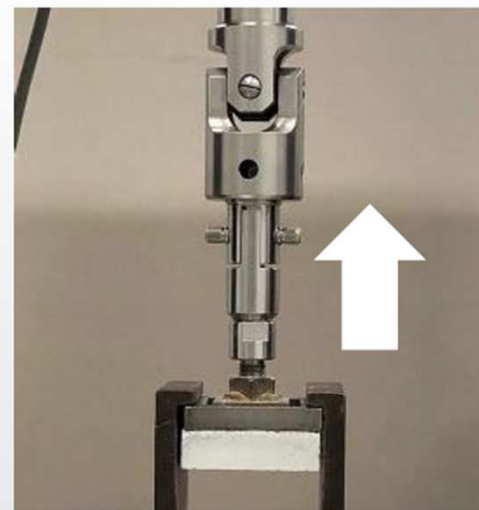
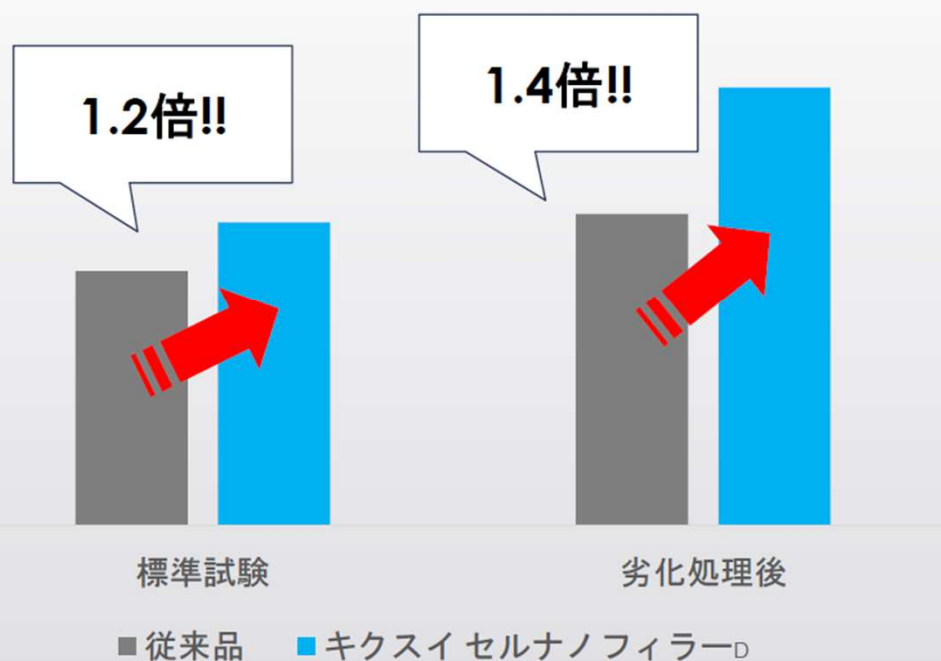


大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

※JIS A6909 付着強さ試験準拠

付着強さ試験



大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

※日本建築学会ポリマーセメント系塗膜防水品質試験
ゼロスパンテンション伸び量試験準拠

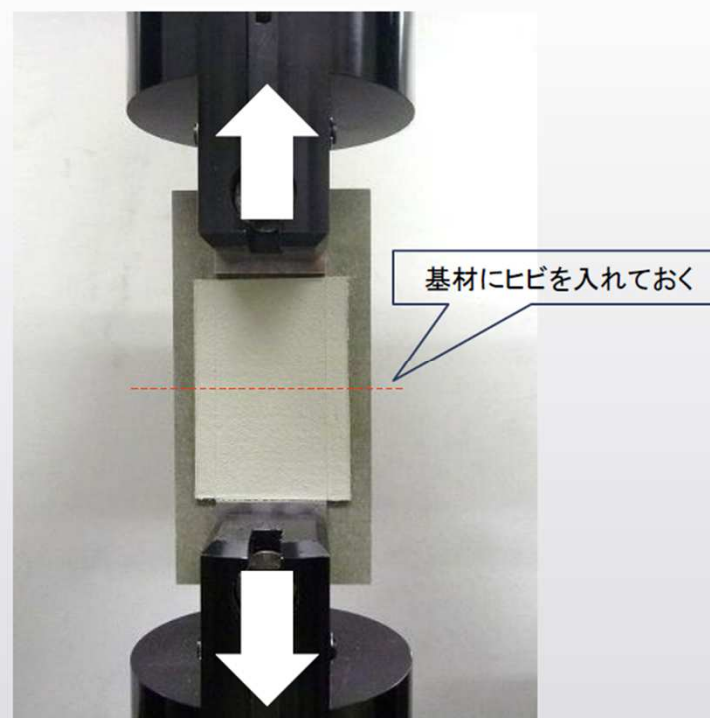
ゼロスパンテンション試験

1.13倍！

1.2倍！

標準試験 劣化処理後

■ 従来品 ■ キクスイ セルナノ フィラーD



大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

ひび割れ追従性実験

◇ひび割れ状況

従来の微弾性フィラー



☆キクスイ セルナノフィラーD



大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

◇ひび割れ幅と本数

主材		0.1mm	0.2mm	0.3mm	0.4mm	0.5mm	0.5mm 以上
従来品	基材	3	5	3	2	2	10
	仕上材	0	3	2	2	3	8
キクスイ セルナノフィラー ^D	基材	1	14	6	0	1	3
	仕上材	2	0	0	0	0	0



塗装仕様について

中性化抑止試験

試験開始

180日後

※JIS A1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法7.9
促進中性化試験準拠

無塗装	☆キクスイ セルナノフィラーD
	
中性化深さ : 27.48mm	中性化深さ : 1.96mm



塗装仕様について

鉄部

手すり・柱・付属金物

2 液弱溶剤形オールマイティーふっ素樹脂塗料

「キクスイ SP パワーフッ素」

2 液弱溶剤形オールマイティーシリコン樹脂塗料

「キクスイ SP パワーシリコン」

2 液弱溶剤形オールマイティーウレタン樹脂塗料

「キクスイ SP パワーウレタン」

1 液弱溶剤形ターペン可溶形シリコン樹脂塗料

「キクスイ ロイヤルトップスター」



塗装仕様について

躯体

中性化・塩害・クラック補修材

躯体補修「BR工法」

他社同等：「リフリート工法」 太平洋セメント

下地調整材「JSプレミックスシリーズ」

他社同等：「NSプレミックスシリーズ」 日本化成

大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

中性化抑止・塩害対策
アルカリ骨材対策

キクスイBR工法

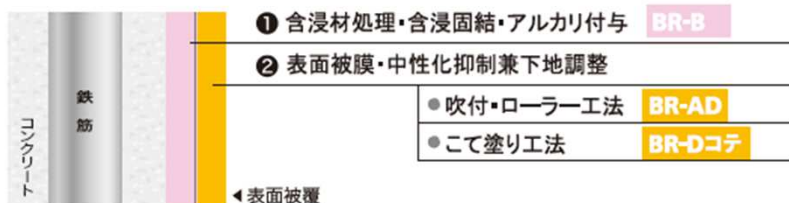
キクスイBR工法とは

経年による鉄筋コンクリート、コンクリート構造物等の劣化を抑制し中性化・塩害・アルカリ骨材反応による鉄筋コンクリートの損傷部分を補修すると同時に、本来の機能を回復させます。

製品の組合せを変えることで
目的に合わせた仕様組みが可能です。

I. 中性化抑制工法

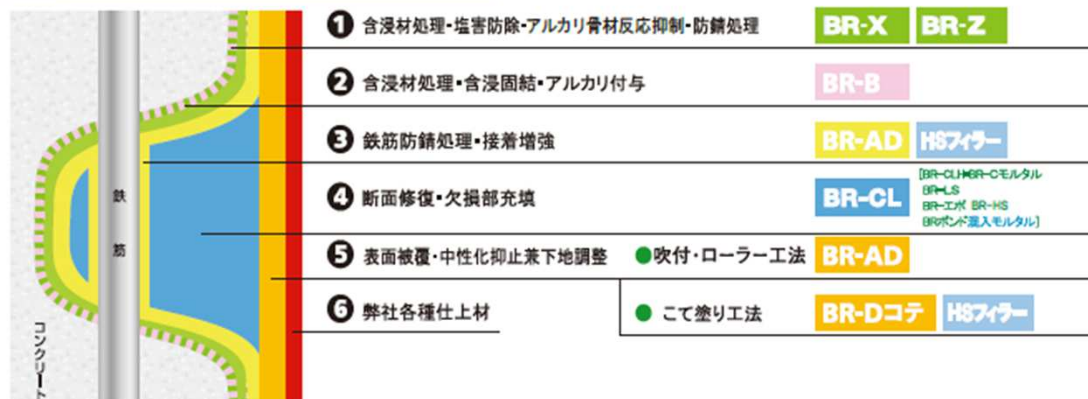
【キクスイ推奨補修工法】



【国交省補修工法】

施工工程	一般使用材料
コンクリート表面処理	ケレン、清掃
含浸材処理	アルカリ性付与材
断面修復	—
表面被覆	中性化抑制材料

IV. 鉄筋腐食部補修工法



大切な
お住まいを
守る

塗装仕様について

エントランス

石材調 責任施工品

シート状装飾材（御影）「モダンアートストーン」

シート状装飾材（砂岩）「モダンアートストーン」

しっくり調仕上げ

創造的漆喰仕上塗材「グラナダ」

グラナダの改修に

意匠性塗材塗変え用ハルス複合シリコン樹脂塗料

グラナダフレッシュ グラナダフレッシュF

菊水化学工業は砂壁状塗材「リシン」のパイオニア。50年の実績が生み出した新しい改修塗材。
古くなった砂壁状、土壁状の独特な風合いを生かします。
既存パターンをつぶすことなく、マットで落ち着いた素材感のまま美しい壁に蘇らせます。

施工対象：グラナダ、グラナダ弾性、グラナダSi、グラナダ内装用、その他類似意匠塗材



磁器タイルから
御影石調の風格へ



▼グラナダ（デコ）の改修





塗装仕様について

その他部位

受水槽

FRP製貯水槽（受水槽）外面塗装システム

2液弱溶剤変性エポキシ系錆止め塗料「SPパワーエポ（ブラック）」

2液弱溶剤形オールマイティーシリコン樹脂塗料「SPパワーシリコン」

専有部室内

水系反応硬化形アクリルシリコン塗料「水系ファインコートEP-Si」

結露防止塗料 調湿性・防カビ性・断熱性「ケツロナイン」

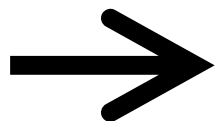
大切な
お住まいを
守る

磁器タイル復元工法について

タイルは通常長期間変わらない意匠と物性有しています。
しかし、改修工事においてクラック、浮き、剥落等により張替を行う際に類似品を採用するとその意匠性が損なわれてしまいます。

（同じ品番は廃止になっている場合がほとんどです。）

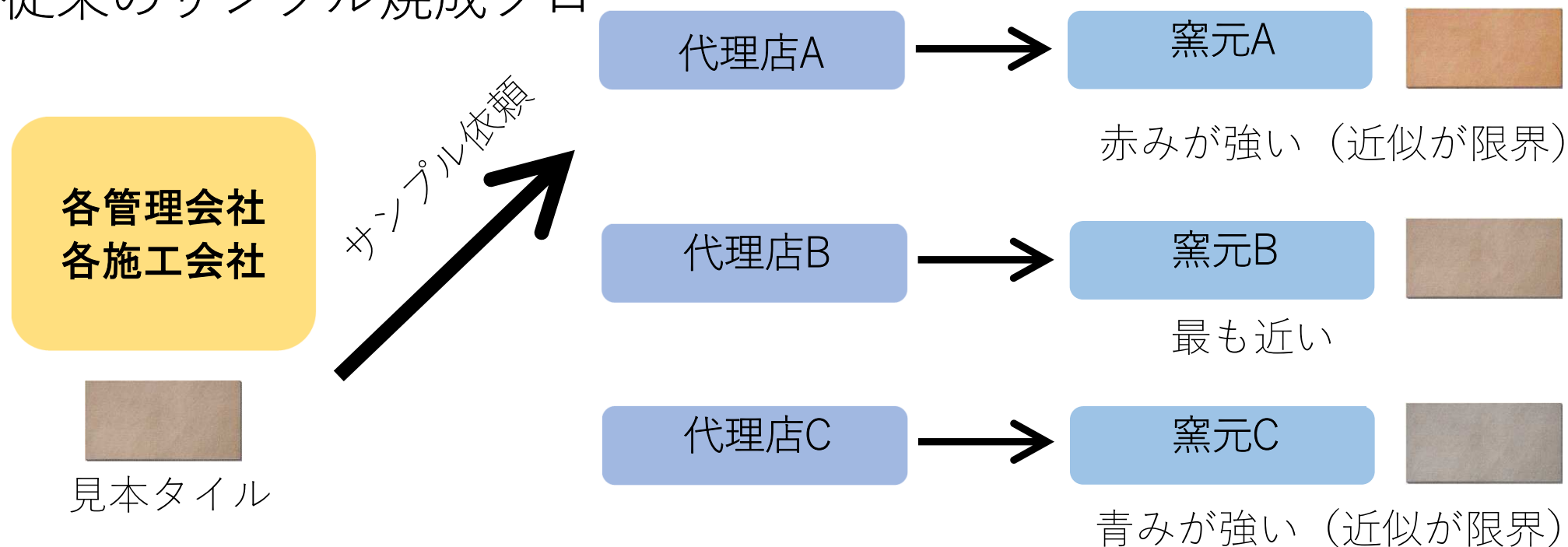
また、窯元により土の種類が異なり近い色味の再現は困難ですが
「K S タイルマッチ」により高精度の復元が可能です。



大切な
お住まいを
守る

磁器タイル復元工法について

従来のサンプル焼成フロー



今回のケースでは窯元Bを選択することが適切であるが、多くの代理店は1つの窯元としか契約していないことが多いため、近似・類似が限界になってしまう。見本焼成には1か月ほど時間がかかり比較検討する時間を取れないケースが多く、現場によってタイル合わせの精度にバラつきが出る原因となっている。

大切な
お住まいを
守る

磁器タイル復元工法について

KSタイルマッチサンプル焼成フロー

各管理会社
各施工会社

菊水

窯元の選定・依頼

タイル共同組合

窯元A

赤みが強い

窯元B

最も近い

窯元C

青みが強い

見本タイル

非営利タイル協働組合 ケーエスジーが見本タイルと同じタイルを焼成出来る窯元を選定。
最短で最も現物タイルに近い、質の高いサンプル作成が可能。

大切な
お住まいを
守る

石綿含有仕上塗材について

アスベスト分析調査
ご依頼ください

最短 翌々営業日に
アスベスト含有の有無がわかります！



その建物、アスベストが含有されている可能性はありませんか？

アスベストは、2006(平成18)年9月に0.1%を超えて含有する物の製造・使用等が禁止されました。それ以前に着工された建築物は、アスベストを含有する製品が使用された可能性があり、**解体・改修前に建材の分析を行う必要があります。**厚生労働省による石綿障害予防規則、環境省による大気汚染防止法などをはじめ、アスベスト対策に関する規制が強化されています。まずは建物の建設年・改築年を確認し、アスベスト含有の可能性を確認しましょう。

定性分析
(アスベストが有るか
無いかを調べる)

定量分析
(アスベストの
含有量を調べる)

J I S A 1 4 8 1 - 1
偏光顕微鏡法

J I S A 1 4 8 1 - 2
位相差・分散顕微鏡法
+ X線回折法

アスベスト無し

アスベスト有り

J I S A 1 4 8 1 - 3
X線回折法